

産業厚生常任委員会資料

令和3年3月3日

健康福祉部 健康課

福祉総務課

目 次

新型コロナウイルス感染症の影響による自殺者やDV被害者の現状及び対策について

- I 自殺者の現状及び対策について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～4 ページ

- II DV被害者の現状及び対策について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～7 ページ

新型コロナウイルス感染症の影響による自殺者やDV被害者の現状及び対策について

I 自殺者の現状及び対策について

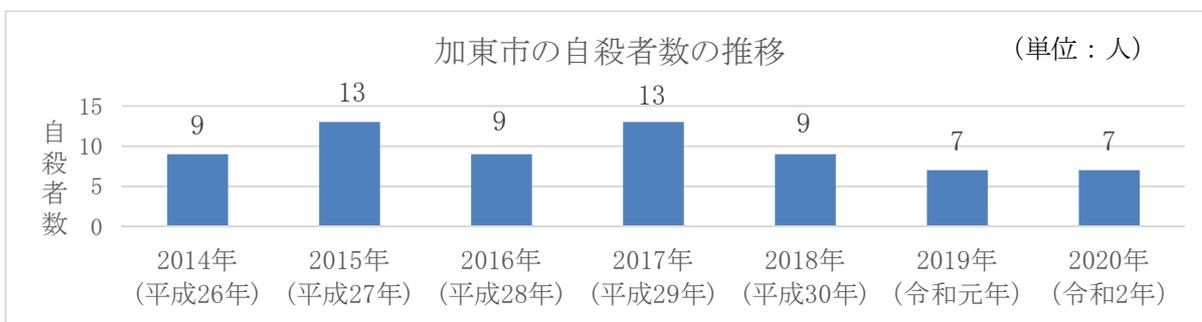
1 加東市の自殺者の現状

(1) 自殺者数の推移

(単位:人)

	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年) 暫定値
全国	25,218	23,806	21,703	21,127	20,668	19,974	21,077
兵庫県	1,122	1,017	929	967	929	863	888
加東市	9	13	9	13	9	7	7

資料：厚生労働省（地域における自殺の基礎調査）

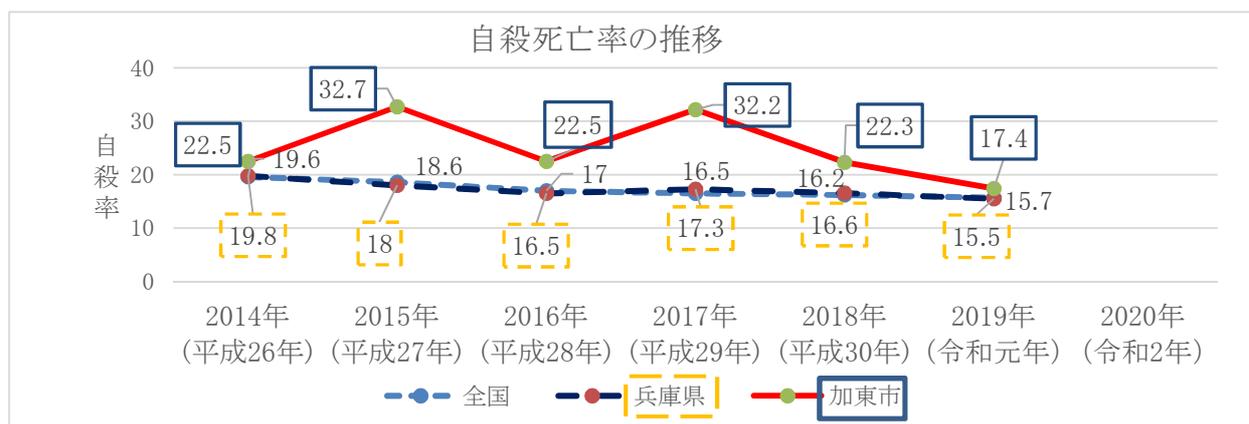


令和2年の自殺者数は、令和元年と比較すると、全国、兵庫県では増加していますが、加東市では同数となっています。

(2) 自殺死亡率（人口10万対）の推移

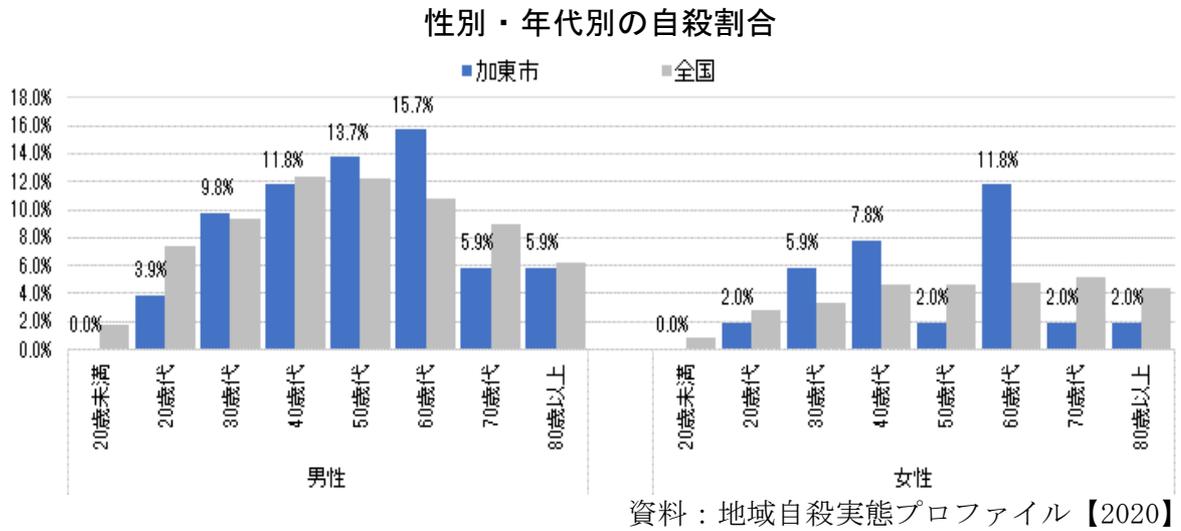
	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)
全国	19.6	18.6	17.0	16.5	16.2	15.7	—
兵庫県	19.8	18.0	16.5	17.3	16.6	15.5	—
加東市	22.5	32.7	22.5	32.2	22.3	17.4	—

資料：厚生労働省（地域における自殺の基礎調査）

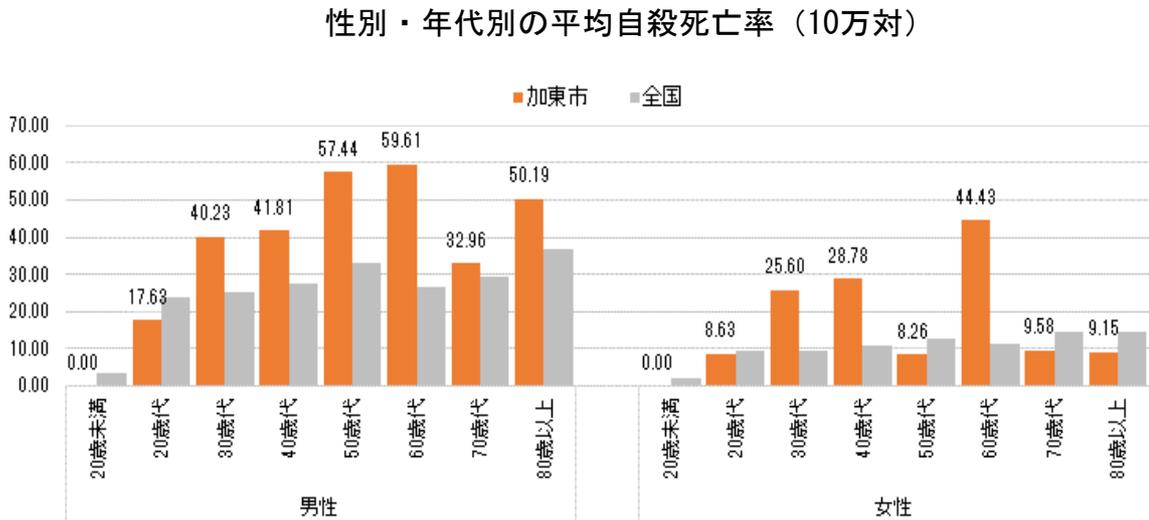


2 性別・年代別の自殺者割合

■加東市における自殺者の性別・年代別割合[直近5年間平均(2015~2019年)]



■加東市における自殺死亡率(人口10万の対自殺者数)性別・年代別[直近5年間平均(2015~2019年)]



資料：地域自殺実態プロファイル【2020】

3 自殺未遂歴の有無

■自殺者における未遂の有無[直近5年間累計(2015年~2019年)]

自殺未遂歴	あり	なし	不詳
全国	20,533 (19.1%)	67,381人 (62.8%)	19,364人 (18.1%)
兵庫県	959人 (20.4%)	3,294人 (70.0%)	452人 (9.6%)
加東市	11人 (21.6%)	31人 (60.8%)	9人 (17.6%)

資料：地域自殺実態プロファイル【2020】

4 自殺リスクが高い対象群

■加東市自殺者の特徴 [直近5年間累計(2015年～2019年)]

(自殺統計(自殺日・住居地))上位5区分

上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺死亡率* (10万対)	背景にある主な自殺の 危機経路**
1位:男性60歳以上 無職同居	5人	9.8%	35.0	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位:女性60歳以上 無職同居	5人	9.8%	20.4	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位:男性40～59歳 無職同居	4人	7.8%	290.1	失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ状態→自殺
4位:男性60歳以上 無職独居	4人	7.8%	214.5	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
5位:男性60歳以上 有職同居	4人	7.8%	38.3	①【労働者】身体疾患+介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺／②【自営業者】事業不振→借金+介護疲れ→うつ状態→自殺

順位は自殺者数の多さに基づき、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順

*自殺率の母数(人口)は平成27年国勢調査を基に自殺総合対策推進センターにて推計したもの

**「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書2013(ライフリンク)を参考にしている。

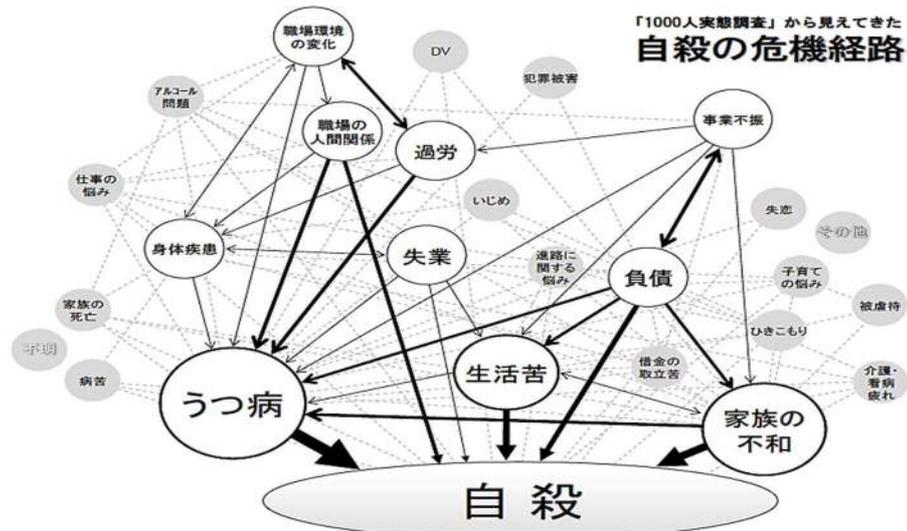
資料:地域自殺実態プロファイル【2020】

5 自殺の危機経路

自殺に至る原因や動機については、様々な要因が複合的に絡み合っているとされています。自殺の原因を単独のものとするのは、自殺の実態について誤解を生じかねず適当とは言えません。

NPO法人自殺対策支援センターライフリンクが行った「自殺実態1000人調査」では、「自殺の危機経路」を以下の図のように示しています。この図中の丸の大きさは自殺要因の発生頻度を表しており、大きいほど要因の頻度が高いことを示しています。また、矢印の太さは要因と要因の因果関係の強さを表しています。

この図からは、直接的な要因としては、「うつ病」が最も多いものの、その状態に至るまでには複数の要因が存在し連鎖していること、また、自殺に至るまでに「平均4つの要因」を抱えていることがわかります。



6 自殺対策推進のための施策

自殺はその多くが心理的に追い込まれた末の死であり、その多くが防ぐことができる社会的な問題であることを認識し、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して、自殺対策を進めています。

(1) 加東市自殺対策計画

加東市の自殺対策を推進していくため、国の自殺総合対策大綱に沿い、次の基本施策と重点施策に取り組んでいます。

(基本施策)

- ①地域におけるネットワークの強化
- ②自殺対策をささえる人材の育成
- ③住民への啓発と周知
- ④生きることの促進要因への支援
- ⑤児童生徒のSOSの出し方に関する教育

(重点施策)

- ①高齢者対策
- ②生活困窮者対策
- ③無職者・失業者対策

(2) 主な取組

①自殺対策推進本部会議の開催

1回実施（令和2年9月16日）

市長を本部長とした庁内各部局長で構成。自殺対策に関する施策を総合的かつ効果的に推進するために、自殺対策に係る情報を共有し、ネットワークの強化を図った。

②こころの健康づくりネットワーク会議の開催

3回実施（令和2年11月11日、12月2日、令和3年1月6日）

自殺対策に関連の深い部局職員で構成。自殺の現状の共有と具体的な取組の推進、ネットワークの強化を図るとともに、話の聴き方についての研修を行い、職員のスキルアップを図った。

③市職員向けゲートキーパー研修の実施

4回実施（令和2年12月8日午前・午後、令和2年12月10日午前・午後）

市職員を対象としたゲートキーパー研修を実施し、227人参加。

早期に問題を発見し、適切な相談窓口につなげられるよう人材の育成を図った。

II DV被害者の現状及び対策について

1 国・県におけるDV相談件数の推移

(件数)

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
配偶者暴力 相談支援セ ンターにお ける相談件 数	全国	106,110	114,481	119,276
警察におけ る配偶者等 からの暴力 相談件数 (※1)	警察庁	72,455	77,482	82,207
	兵庫県警察本部	3,380	3,453	3,465
兵庫県	市・町における 相談延件数	12,812	12,705	12,304
兵庫県関係機関における 相談件数 (※2)		2,618	2,985	3,402

(※1) 警察における件数は各年中

(※2) 兵庫県関係機関とは、兵庫県女性家庭センター、兵庫県立男女共同参画センター、兵庫県こども家庭センター等

資料：兵庫県「県下におけるDV相談等の状況について」、兵庫県警「ストーカー・DV
白書」、警察庁「ストーカー事案及び配偶者からの暴力事案等への対応状況について」、
内閣府男女共同参画局

2 加東市におけるDV相談件数の推移

(件数)

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (R3.1月末現在)
相談件数 (延べ)	電話相談	122	162	84	67
	来所相談	72	44	43	24
合計		194	206	127	91

加東市配偶者暴力相談支援センター受付分

3 DV相談件数の推移

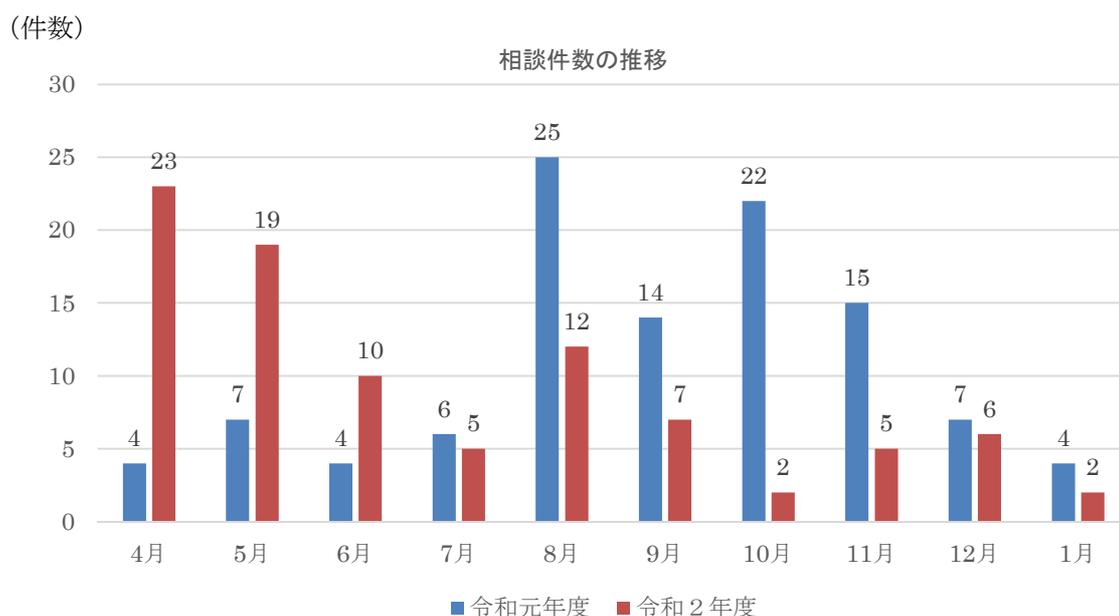
(1) 全国の配偶者暴力相談支援センターの相談件数

DV相談件数の推移を見ると、令和2年4月から12月までは14万7,277件で、令和元年度同期の約1.5倍となっています。



(2) 加東市のDV相談件数

令和2年4月から令和3年1月までの相談件数は91件で、令和元年度同期の108件から減少しています。また、新型コロナウイルスを主訴とした相談はありませんでした。



考察：新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全国的に外出自粛や休業等の状況下において、生活不安やストレスによる配偶者等からの暴力は増えています。

加東市ではコロナ禍の中、国の給付金事業の他に、「子育て世帯緊急支援給付金」、「高校生のいる子育て世帯緊急支援給付金」、「ひとり親世帯緊急支援給付金」、「新生児臨時特別給付金」と市独自の支援事業を実施してきました。

DVには様々な要因が考えられますが、これらの給付金により経済的環境を少しでも支援でき、金銭的な面での不安解消の一助になったと推測します。

4 DV防止に向けた取組

DVが犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であるとの認識に立ち、DV防止に向けた啓発を進めています。

(1) 第2次加東市配偶者等暴力（DV）対策基本計画

第2次加東市配偶者等暴力（DV）対策基本計画では、次の重点目標・基本課題を掲げ、加東市に住む誰もが暴力の不安に怯えることなく、また、暴力で人を傷つけないよう配偶者等からの暴力の根絶に取り組んでいます。

(重点目標) 配偶者等からの暴力の根絶と被害者の自立支援

(基本課題)

- ①相談体制の充実
- ②被害者の安全確保
- ③被害者の自立支援と生活再建の支援
- ④DVを許さない意識づくりの推進
- ⑤支援体制の充実

(2) 主な取組

①女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボンキャンペーン）の実施

1回実施（令和2年11月1日～30日）

市内商業施設、市役所ロビーで啓発物品を設置し、DV防止の啓発や相談窓口の周知を図った。

②デートDV防止授業の実施

3回実施（滝野中学校令和2年10月2日、東条中学校令和2年11月12日、社中学校令和3年2月5日）

市内の中学生を対象にデートDV防止事業を実施し、交際相手と互いの人権を尊重する意識の醸成を図った。

③DV防止ネットワーク会議の開催

1回実施（令和2年10月1日）

DVの防止及び被害者の保護のため、必要な関係部署間の連携、協力及び情報共有によるネットワークの強化を図った。